

授業改善プラン 1年 教科（英語）

学力調査・定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子から分析して作成する。

【目的】

- 生徒の課題を分析し、適切な指導方法の工夫、改善を行う。
- 生徒、保護者に課題、改善の取り組みを明示し、学校と一体になって学力向上へ向けた取り組みを行う。

観 点	1・2学期		3学期
	課題分析	具体的な改善プラン	改善プランの評価 来年度に向けて
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	○積極的に授業に取り組んでいる。 ▲書く活動に対して消極的である。	クロームブックを場面で活用し、生徒の英語に対する興味・関心を引き出す。	クロームブックを効果的に活用することができた。今後より多くの活動に取り入れていく。
外国語表現の能力	○話す活動においては非常に意欲的である。 ▲場面に応じ即興で答えることができない。	学習した言語材料を実生活に即した場面を与え、練習させる機会を増やす。	年間を通じて英会話を帯活動で行えた。来年度は即興性のある英語が身に付くよう表現に幅をもたせるためパターンプラクティスを多く取り入れる。
外国語理解の能力	○読む、聞くことにおいては大意を理解することができ る。 ▲一文10語以上の長めの文は理解できない生徒が若干名いる。	教科書以外の英文を読み・聞かせる活動を増やす。その際代名詞が何を表しているかに留意させる。	教科書以外の英文や英語音声に触れさせることができた。来年度は教科書も変更になるので教材研究を怠らないようにする。
言語や文化についての知識・理解	○基本的な文法事項は理解している。 ▲文法は理解しているがスペリング（単語）にやや不安がある。	毎時間復習プリントを宿題としてだしている。教科書の単語、重要表現を中心にスペリング練習をさせる。	復習プリントは効果的であったが、形式的なものになってしまったため、出題方法にバリエーションをもたせる。
授業改善の検証方法	授業での発問・観察、小テスト、定期考査、提出物	授業での発問・観察、小テスト、定期考査、提出物	授業での発問、小テスト、定期考査、パフォーマンステスト、提出物

小中一貫教育の視点	具体的な取り組み (交流・連携等)	2学期までの 成果と課題	1年間の成果と 今後の課題
自分の力でたくましく 生きぬく子の育成 ～9年間の継続的な一貫性 のある指導を目指して～	町教研での研究授業の観察と授業についての意見交換。	英語という言語に興味を持たせることができた。まだ場面に応じた即興性のある英語は習得できていないので、今後パフォーマンステストを活用し即興性のある英語の習得を目指す。	復習プリントやクロームブックを活用することで、円滑に授業を進めることができた。来年度はスピーキングテストの回数を増やし、話す能力を高める。

授業改善プラン 2年 教科（英語）

学力調査・定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子から分析して作成する。

【目的】

- 生徒の課題を分析し、適切な指導方法の工夫、改善を行う。
- 生徒、保護者に課題、改善の取り組みを明示し、学校と一体になって学力向上へ向けた取り組みを行う。

観 点	1・2学期		3学期
	課題分析	具体的な改善プラン	改善プランの評価 来年度に向けて
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	○積極的に授業に取り組んでいる。 ▲まとまりのある英文で自分の感情や意見を説明することが難しい。	英語を話す事への積極性は身に付いているので、より英語会話を増やせるようスピーキング活動を増やす。	帯活動でスピーキング活動を多く入れることで英語を話すことへの意欲が高まった。
外国語表現の能力	○スピーチやペアワークで簡単な英語でコミュニケーションをとることができている。 ▲完全な文で話すことや書くことはまだ難しい。	パターンプラクティスを多く取り入れ、既習事項の言語材料の活用方法を定着させる。クロムブックを活用し、自身の英文の精度や発音等を振り返らせる。	対話活動を多く取り入れることで、基本的な文の受け答えができるようになった。来年度では即興性のある英語を身に付けさせる。
外国語理解の能力	○英語を読み、また聞いて大意を理解できる生徒が多い。 ▲接続詞を含んだ長めの文を理解することができない生徒がいる。	教科書の英文だけでなく、中学生が身近に感じることのできる題材を扱い、読むことへの抵抗を減らす。	教科書外から実用的な例文を多く取り入れることで、学習している言語材料がどのような場面で使用されるかを意識付けすることができた。
言語や文化についての知識・理解	○基礎的な文法事項は習得している。 ▲不定詞、助動詞への理解が浅い。	不定詞、助動詞を中心に既習事項の復習をする活動を定期的に取り入れる。	既習事項の復習をする時間はとれたが、定着したかを確認することはできなかった。来年度では小テストを行う。
授業改善の検証方法	授業での発問・観察、小テスト、定期考査、提出物	授業での発問・観察、小テスト、定期考査、提出物	授業での発問・観察、小テスト、定期考査、提出物、パフォーマンステスト

小中一貫教育の視点	具体的な取り組み (交流・連携等)	2学期までの 成果と課題	1年間の成果と 今後の課題
自分の力でたくましく 生きぬく子の育成 ～9年間の継続的な一貫性 のある指導を目指して～	町教研での研究授業の観察と授業についての意見交換。	基本的な英語での受け答えはできているが、物事や人物を説明することはまだ難しいので、対話だけでなくスピーチや人物紹介を今後帯活動に取り入れていく。	年間を通じて英語を用いた表現力や積極的に英語を話す姿勢を身に付けさせることができた。今後、語彙力を高めることが課題となっていく。

授業改善プラン 3年 教科（英語）

学力調査・定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子から分析して作成する。

【目的】

- 生徒の課題を分析し、適切な指導方法の工夫、改善を行う。
- 生徒、保護者に課題、改善の取り組みを明示し、学校と一体になって学力向上へ向けた取り組みを行う。

観 点	1・2学期		3学期
	課題分析	具体的な改善プラン	改善プランの評価 来年度に向けて
コミュニケーション への関心・意欲・態度	○授業に積極的に取り組んでいる。 ▲英語を話すことに抵抗を感じている生徒がいる。	毎時間、帯活動としてペアのスピーキング活動を取り入れる。	帯活動の中で、ペアでの対話活動を増やすことで英語での発話量を増やすことができた。来年度も継続して行う。
外国語表現の能力	○発音が全体的にとっても良く、スピーチなどでは相手に伝えようと一人一人が努力している。 ▲書く活動において正確な英文を書くことができない生徒が多い。	都立入試を意識し、テーマに基づいている文から3文で自分の意見を書く英作文の活動を定期的に取り入れる。	英作文の活動をすることで、英語を用いて表現する力は身に付けさせることができた。より表現力を身に付けるために、ペアやグループで書いた英作文を発表させる機会をもたせることが課題である。
外国語理解の能力	○読む、聞くことにおいては大意を理解することができる。 ▲文法に則った理解や類推ではなく、単語の意味をつなげてなんとなく意味を「創作」してしまう面があり、正確に聞くこと、読むことは苦手。	長いまとまりのある比較的難易度の易しい英文を定期的に読ませる活動を取り入れ、長文への抵抗感をなくす。	年間を通じて音読をした成果もあり、読んで理解する力、聞いて理解する力は身に付いた。来年度は日常的にまとまりのある英文に触れさせることで、英文への抵抗をなくさせる。
言語や文化についての知識・理解	○三年次で習得した英文法への理解は高い。 ▲2年次既習事項の不定詞や比較表現、受動態を理解していない生徒が多い。	今後、2年次で習う文法項目について定期的に復習する時間を設ける。	復習する時間を定期的に取り入れることができた。文法的な知識を英会話に応用することができなかったため、来年度は身に付けた文法で英会話をする時間を取り入れる。
授業改善の検証方法	授業での発問・観察、小テスト、定期考査、提出物	授業での発問・観察、小テスト、定期考査、提出物	授業での発問・観察、小テスト、定期考査、提出物、パフォーマンステスト

小中一貫教育の視点	具体的な取り組み (交流・連携等)	2学期までの 成果と課題	1年間の成果と 今後の課題
自分の力でたくましく 生きぬく子の育成 ～9年間の継続的な一貫性のある指導を目指して～	町教研での研究授業の観察と授業についての意見交換。	英語での発話量は増えたが、正しい英文を使うことはできていない。様々な状況の中で英語が使えるよう、ペアワーク・グループワークをより取り入れる。	小学校との連携を意識し、9年間を見通した授業プランが求められる。小学校教員と授業方法等について意見を交わし、より円滑な小中連携を目指す。